

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：救急部 赤穂 良晃

【研究責任者】

聖路加国際病院 救急部 赤穂 良晃

尿路結石症の患者さんに対するジクロフェナク坐剤の効果の 検討に関する研究

1.研究の対象

2013年12月～2020年8月までの期間に聖路加国際病院の救急外来を受診され、「尿路結石症」と診断された患者さん。

2.研究の目的・方法

尿路結石症は非常に強い痛みを生じる疾患で、速やかな鎮痛が求められます。本邦のガイドライン¹では、疼痛に対し非ステロイド性抗炎症薬(NSAIDs)が第一選択とされジクロフェナク坐剤が頻繁に使用されています。一方欧米では、麻薬を含めた経静脈的な薬剤投与が一般的です。ジクロフェナク坐剤は点滴ルートが不要なため、点滴処置に伴う合併症を避けられ、また処置に必要な時間を省略できることから救急外来滞在時間を減らす可能性があります。

そこで本研究では、尿路結石症患者さんの仙痛に対するジクロフェナク坐剤が、他に頻用される経静脈的鎮痛薬に比べ、鎮痛効果と救急外来滞在時間を減らすか、という点について検討します。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2022年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、投与した鎮静薬の種類と投与した時間、救急外来滞在時間 等

4.参考文献

1) 日本泌尿器科学会ほか. 尿路結石症診療ガイドライン第2版. 東京:金原出版, 2013